



Compass

45期生学年だより 第3号

発行 平成29年7月24日

さあ、夏休み

期末テストも終わり1学期の成績ができました。まさか残念な結果になっていないですよね？

これから夏休みです。高校生になって初めての夏休み、どのように過ごしますか？部活動、文化祭の準備、旅行、海水浴やプール・・・たくさんやりたいことがあると思います。でも、勉強のことを忘れないでください。夏休みだからといって、だらけて勉強から逃げていると2学期から苦しくなります。特に、大学受験を考えている人は、毎日少しでもいいので必ず勉強しましょう。**目標時間は、1日3時間**です。部活などがなければ、4～6時間くらいできるといいですね。一年生だからと言って、何もしないと40日の間に1学期の勉強内容をすっかり忘れてしまいます。英語や数学は毎日少しずつでもやらないと2学期になって慌てることになりますよ。

現実に期末テストの勉強が、直前になっての一夜漬けになっていませんか。家庭学習の時間が0分という人がだんだん増えてきています。目先の旭高校の中の成績だけで満足しては、進学という全国規模のイベントに乗り遅れてしまいます。ついっただけがちな夏休みですが、進路に対する強い思いをもって乗り切ってください。



生活について

夏休みだと、ついつい生活がだらけがちですね。学年集会でも話がありましたが、学校という枠組みが無くなるので、生活リズムが狂いやす時期です。スマホでSNSにはまったり、ゲームで徹夜したりと気が付くと夜型の生活になって朝起きられなくなってしまいます。2学期には遅刻や欠席がちになりかねません。起床・就寝時間や勉強を始める時間などしっかりと決めて、規則正しい生活を送るように心がけましょう。

さらにSNSは要注意です。不用意な発言や、写真から個人情報を流出させてしまうことや、いじめにつながりかねない事態が生まれるリスクもあります。自分ではそのつもりが無くても、文字にすると表情がなくなり、相手に突き刺さる言葉になってしまうこともあります。発信には十分配慮しましょう。

また、身だしなみにも気を付けましょう。夏の開放感から、ついつい髪を染めてしまったり、ピアスの穴を開けてしまったりと気持ちが緩みがち。2学期になって急いで直そうとしてもうまくいきません。そんなことにならないよう、気持ちを流されないようにしましょう。

科目選択について



すでに、希望票を提出してもらっていますが、ご家庭でもう一度高校卒業後の進路について考え、自分の選択が大丈夫かを確認してください。2学期になってすぐに第2次調査を行います。それ以降は変更できません。もし、2次調査までに変更したいという人は、必ず担任や教科担当に相談してください。夏休み中、大学などへオープンキャンパスや見学に出向いて、実際に自分の目で確かめてきてほしいと思います。選択を間違えると、将来の選択肢を狭めることになりかねません。自分で道を閉ざすような選択はしないよう注意しましょう。

前回も示しましたが、選択パターンを再掲します。

- 数学B → 文系志望でも数学の力を要求されることが多く、大学進学を考える人は選ぶと良い。
- 化学 → 理系進学志望の場合は必ず選ぶ。
- 古典B → 文系進学志望の場合は必ず選ぶ。
- 芸術 → 芸術方面への進学志望者は必ず選ぶ。数学Bを必要としない場合も選べる。

※ 文系：法学・政治学・経済学・商学・社会学・文学・国際学・福祉・家政・教育・芸術など
理系：理学・工学・水産・農学・薬学・医学など

オープンキャンパスに行こう！

夏休みの間に、大学等の上級学校のオープンキャンパスに参加したり学校見学をしましょう。自分の将来の進路を考えるためには、大学を見て回ることが大切です。一年だからまだ早いと思っていませんか。実は受験に成功した人ほど、早くから目標とする学校を決めています。決めるためには、一年の段階から情報を集めることが大切です。

専門学校を考えている人も、必ず大学を見ましょう。将来の可能性を拓けるという意味でもお勧めします。将来の就職を考えたときに学校選びに失敗したと思うことにならないようにして欲しいです。専門学校とはどのような勉強をするところなのか、卒業後の就職はどうなのか、就職後の生活や賃金などについて大学卒業の場合との違いも知っておく必要があります。また、同じ分野の勉強であっても、大学卒と専門学校卒では就職の際に企業の扱いは異なります。進路を大学か専門学校かで悩んでいる人は必ずその点も見学で調べましょう。その上で、どちらを選ぶのか考えましょう。

進路が漠然としている人もきっといると思います。そんな人は様々な学校へ見学に行って、実際を知り、将来こんなはずじゃなかったと思わずに済むように、情報を集めましょう。



見学のポイント

- ・現在の学力よりも高いレベルの学校を見よう。受験までまだ2年半ある。勉強のやり方しだいで憧れの大学に手が届くぞ！
- ・卒業後の就職や進学先を調べよう。入学者数・卒業者数と就職・進学者数を比べ、アルバイトやフリーターになっていないか確かめよう。
- ・大学生の雰囲気味わおう。学生食堂があれば、入って食べてみよう。学生の様子もわかるぞ！
- ・見学先の正門や校舎の前で記念写真を撮ろう。机に飾って志望校目指して頑張ろう。
- ・憧れている大学の購買（生協など）で、その学校のグッズを手に入れよう。ペンや下敷き、クリアファイルなど普段使うものを買って、毎日眺めて気持ちを高めよう。

推薦制度の変更

従来、進学の推薦要件として「3年次の成績で評価1・2や欠時数超過が無いこと」とありましたが、安易に推薦受験の利用を決めるのではなく、ライフプランをしっかりと立て、将来を見据えて進学先を決めてほしいという思いから次のように追加・変更しました。

○指定校推薦の校内選考への申請が最大で**第3希望まで**となりました。

○一般公募推薦に新たな基準ができました。

- ・成績基準（評定平均等）が示されていない場合

大学：評定**3.0**以上、短期大学：評定**2.7**以上とします。ただし、学習成績に依らない推薦（スポーツ、課外活動、有資格など）や自己推薦は除きます。

※ 専門学校については成績基準を設けません。

- ・生活態度（出席状況が良好な者など）の条件が付く場合

欠席日数：**3年間（3年1学期まで）30日以内**とします。

これらの基準は最低限の条件ですから、これをクリアできていれば推薦で合格できるというものではありません。毎日の学習の積み重ねが大切です。学校生活を日々振り返り3年間過ごしましょう。

本を読もう！

国語の宿題にもなっていますが、読書は人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものとされています。他人の人生を経験することはできませんが、本を読むことで様々な人の生き方を追いかけることができます。自分だけでは味わえない感動も得られます。ライトノベルもいいですが、国語便覧に載っているような著名な作品や小論文を見据えていろいろなジャンルの評論も積極的に読んでみましょう。